

事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	あじさい館管理事業（政策）						事業類型	業務委託
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			10	04	06	03		
総合計画体系	第2章 健やか・安心・思いやりのまちづくり						総合計画対象	対象
	第5節 地域福祉の推進						市民協働	行政主体
	[1] 地域福祉						担当課係等	あじさい館
2 地域福祉施設の充実								あじさい館管理係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部（D0）

【目的】 市民相互交流を通し、市民の連帯意識の形成促進を図り、教養の向上、文化の振興及び健康増進に寄与する。	【関連事業】
【期待される効果】 施設の適切な管理に努めることにより、利用者の安全で快適な施設利用に寄与する。	【対象者】 施設利用者
【全体概要】 あじさい館の施設管理にあたり、利用者の安全性を第一義に考えるが、利便性や満足度の向上も常に意識し、利用者数の増加を図る。	【特記事項】 あじさい館管理業務一括委託、トレーニングルーム活用業務委託は次年度移行も継続。
【平成25年度 事業内容】 施設の適正管理全般及び有効活用。受託業者による受付業務、設備も含む施設管理、緑地管理、清掃など、施設管理業務に対するの監督、指導。	【平成26年度 事業内容】 施設の適正管理全般及び有効活用。受託業者による受付業務、設備も含む施設管理、緑地管理、清掃など、一括管理業務に対するの監督、指導。
【平成27年度 事業内容】 施設の適正管理全般及び有効活用。受託業者による受付業務、設備も含む施設管理、緑地管理、清掃など、一括管理業務に対するの監督、指導。利用者数増加のための施策の検討。	

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	25,567	30,586	31,592
歳入計（千円）		25,567	30,586	31,592
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	0	0	324
	13 委託料	25,567	30,586	31,141
	18 備品購入費	0	0	127
歳出計（千円）（A）		25,567	30,586	31,592
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 3.28 予 -63.5
職員人工数		1.00	1.15	1.15
職員人件費（B）		8,060	8,870	9,143
総事業費（A）＋（B）		33,627	39,456	40,735

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	浴槽水水質検査回数	回	目標	1,204.00	1,208.00	1,228.00
	浴槽水残留塩素検査回数		実績	1,204.00	1,208.00	0.00
	法定4項目水質検査回数	回	目標	4.00	4.00	4.00
	検査機関が実施したレジオネラ菌を含む4項目検査回数		実績	4.00	4.00	0.00
成果 指標	開館日数	日	目標	301.00	302.00	307.00
	利用者の重大事故等を防止し、安全に開館した日数		実績	301.00	302.00	0.00
		人	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市公共施設等マネジメント計画の基本方針の中の、「施設の複合・多機能化」に当施設は該当していると思われる。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 風呂やカラオケは、民間施設と重複しているため、福祉の意味合い以外での設置の意味は疑問に感じるが、地域のコミュニティ拠点としての必要性はある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 予算の都合上、必要最小限にとどめている設備修繕をもっと充実させることや、管理業務委託内容のボリュームアップなどにより、快適性・利便性をもっとアップさせることは可能。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 ②の理由でやや影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 ②の理由で市が行う理由、妥当性はある。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 指定管理者制度の検討余地がある。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 料金無料となる高齢者の利用が多い。しかし、有料化すると、要望の発言が増え、修繕費等を増やさざるを得なくなり、かえって支出が増える結果につながる懸念される。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	一括管理委託業務内容の見直しや、指定管理者制度の導入も検討していく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 中泉 栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 従来通り、施設の適正な管理と必要に応じての迅速な修理に努めるのは勿論だが、利用者数が増えるような、利用者の満足度が向上するような施策を検討、進めていくこと。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 福祉館部分について、保健事業を所管とする長寿福祉課へ戻すべきと考えます。事務委任の解除について、検討をお願いします。		